



～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第**107**号

令和7年10月15日

河津町議会だより



定例会毎に発行



みんなでみんなの盆踊りにて

P. 2～P. 4 決算審査特別委員会

▶令和6年度決算を認定

P. 5 定例会

P. 6～P. 9 町政を問う

▶一般質問（4人）

P.10 常任委員会

P.11

議員視察

P.12～P.13

議会改革特別委員会

議会のうごき

P.14

一部事務組合

P.16

私の一言

▶GO KAWAZU の会代表／山田 萌絵

▶GO KAWAZU メンバー／松本 栞那



YouTube で
議会映像配信中



河津町議会
WEBサイト

決算審査特別委員会：議会が行政の決算をチェック

令和6年度一般会計歳出決算額
50億4,772万円

令和6年度決算

認定

全議員で構成する「決算審査特別委員会」により、9月4日から6日間にわたり、令和6年度の事業や成果・決算について精査・確認し、特別委員会からの意見を付して認定した。

—— 決算審査特別委員会・メンバー構成 ——

委員長 桑原 猛 副委員長 大川良樹

委員 正木誠司、北島正男、渡邊昌昭、遠藤嘉規、上村和正、渡邊 弘、稲葉 静、宮崎啓次

令和6年度の主要な施策・成果

●非課税世帯・低所得世帯に対する支援

物価高騰対応重点支援地方創生臨時給付金補助金 2,954万円

新たな住民税非課税世帯等臨時特別給付金 1,495万円

●定額減税で減税しきれない納税者への支援

定額減税補足調整給付金 5,119万円



●お出かけ支援タクシー実証実験 348万円

高齢者や障害者の皆さん
が買い物や出かけるため
に、タクシーによる支援
を実施



●エネルギーや食料品の物価高騰に対する プレミアム商品券・工事券の発行

商品券 3,112万円

工事券 870万円



●保健福祉防災センター

長寿命化改修工事 1億3,613万円

改修工事（土足化等） 1,059万円



●子育て支援センター 駐車場整備工事

6,344万円



●老朽化が著しい七滝駐車場のトイレを移転改修

公衆トイレ整備工事

6,846万円

旧公衆トイレ解体・外構工事

752万円



●老朽化した学校給食センターの炊飯設備等を改修

整備改修工事

3,465万円



●小石等が露出して危険な河津小学校のグラウンドを改修

改修整備工事

798万円



●見高地区の防災拠点として新設消防第1分団器具蔵置場を併設

防災拠点施設新設工事

1億9,781万円



●1年間でこれだけ掛かってます。

(東河環境センター負担金)

ゴミ処理費

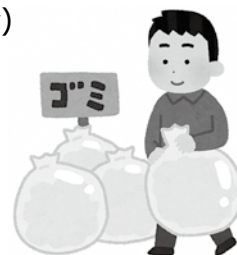
1億9,011万円

(河津町負担率：35.9%)

し尿処理費

4,873万円

(河津町負担率：42.0%)



●同報無線デジタル化整備工事

(令和6年度工事分)

1億9,014万円



●農作物の被害軽減のため

有害鳥獣害

対策費

538万円



●桜まつりの臨時駐車場としても活用しています。

花卉園駐車場整備工事

2,923万円



●保護者の負担軽減のため

高校生の電車通学補助

502万円

伊豆急行線定期の1/2相当額を補助



学校給食費補助

1,067万円

1,000円→2,000円に補助額アップ



医療費扶助費

2,087万円

18歳以下のこどもの医療費を全額補助



行政事務包括業務委託 1億1,953万円

委託事業者：㈱共立ソリューションズ

- ・マイクロバス、町営バス、町バスの車両管理と運行
- ・学校給食センター管理運営と配達
- ・文化の家図書館管理運営
- ・放課後児童クラブ管理運営
- ・踊り子温泉会館管理運営
- ・回覧板の配達
- ・不法投棄監視と回収
- ・介護保険事業支援
- ・花卉園管理運営



☆一般会計の歳入・歳出について

町税の内訳

・町民税	2億8,840万円
・固定資産税	5億6,101万円
・軽自動車税	2,760万円
・町たばこ税	5,853万円
・入湯税	2,075万円
合計	9億5,629万円

町税以外の歳入

- ・地方譲与税
- ・法人事業税交付金
- ・地方交付税
- ・地方消費税交付金
- ・国庫支出金
- ・県支出金
- ・その他各種交付金、分担金、負担金など

一般会計歳入合計 52億8,409万円

一般会計歳出合計 50億4,772万円

「地方公共団体の財政健全化に関する法律」による4つの健全化判断比率を見ると、河津町は健全な財政運営がされている自治体であると判断できる。

●桜まつり期間延長により

河津桜まつり

運営補助金

1,250万円



ふるさと納税寄附金 1億5,455万円

*前年比：2,142万円 増

企業版ふるさと納税寄附金 470万円

特別会計とは？

国や地方公共団体において、特定の事業や資金の運用状況を明確にするために、一般会計とは別に設けられた会計

「町民のみなさんが収めた保険料と国や県からの負担金で運営されています。」

●河津町特別会計歳出決算額（抜粋）

- ・河津町国民健康保険特別会計
8億9,291万円
- ・河津町介護保険特別会計
9億4,900万円
- ・河津町後期高齢者医療特別会計
1億3,946万円

令和6年度 決算審査特別委員会 付帯意見

1. 地域資源を磨き上げ、いつ来ても魅力ある観光の町となるよう推進されたい。
2. 鳥獣被害、景観の面からも、耕作放棄地の新しい管理手法を構築し改善されたい。

令和7年第3回町議会定例会（抜粋）

令和7年第3回の定例会は、9月3日～12日の10日間の日程で開催され、報告事項2件、条例案件3件、補正予算3件、令和6年度決算案件8件の16議案の審議を行い、可決・認定した。尚、会計ごとの決算認定は、議員全員による「決算審査特別委員会」に付託され、付帯意見を付して認定した。

●令和6年度決算に基づき健全化判断比率の報告

河津町の財政健全化判断比率に関し、健全財政と報告を受けた。
同じく、水道・温泉事業会計においても、健全財政と報告を受けた。

●河津町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正

育児、介護休業など、労働者の福祉に関する法律改正に伴い、国家公務員において勤務環境の整備等の措置がされることに準じて同様の措置を講じるための改正。

●令和7年度一般会計補正予算

歳入歳出に9,592万7千円を追加し、総額47億5,692万8千円とする。

主な歳出補正内容

・河津桜まつり駐車場状況可視化（カメラ）によると混雑緩和事業
2,191万円

・河津桜まつり人流調査及び分析による観光地経営事業
184万7千円

・伊豆縦貫自動車道関連町道購入費
416万4千円



小鍋地区購入予定地

・防災公園整備に伴う測量、調査
321万2千円

・お出かけ支援タクシー利用補助金と事務手数料
108万円

・幼稚園、小中学校園児児童生徒給食費負担金
594万円



食材高騰分を町が負担

・地区からのカーブミラー設置要望に伴う原材料費
62万1千円

・障害者自立支援給付システム改修
44万円

・補装具など給付費
150万円

・簡易水道組合補助金（上佐ケ野）
352万円

・地域活性化起業人（農業）負担金
295万円

・希少特産物保護推進補助（アマギアマチャ）
50万円

・中学校火災報知器維持修繕
906万7千円

●国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出96万1千円を追加し、10億5,758万2千円とした。

・国民健康保険税システム改修委託料
88万円

●介護保険特別会計補正予算

歳入歳出5,736万1千円を追加し、10億7,303万5千円とした。

・生活支援コーディネーター委託料（つなバス事業費）
600万円

・一般会計繰出金
1,494万9千円

・国県支出金等返還金
3,631万9千円

町政を問う

一般質問



現在の水道ビジョンと経営戦略



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



うえ むら かず まさ
上村和正 議員

質問 水道事業の料金改定は

答え 見直した計画により検討したい

質問 水道料金改定の必要性は。

町長 これまで配管、配水池など多くの施設整備を行い安定供給に努めてきた。しかし設備も老朽化が進み更新時期をむかえ、多額の費用が必要となる。財政面では、人口減少による需要、収益の減少があり、2050年

の町の人口は4244人と推計されている。令和4年に値上げさせていた。今後も改善計画の策定を予定している。

質問 今後のスケジュールは。

水道温泉課長 水道ビジョン等の見直しを、委託業務を発注しつつ水道委員会を立ち上げ、料金

改定の必要性を協議いただき、情報発信していく。

質問 水道事業の在り方は。

町長 事務の改善は積極的に取り組んでいる。更新や維持管理など将来について取り組みなければならぬ状況である。

質問 基金の運用による利回り向上は

答え 適切な運用を考えていきたいと思う

質問 基金の現状及び利子収入は。

会計管理者 令和6年度末における基金のうち預金として保管しているものは合計で22億1669万円。それぞれ1年間の定期預金で保管している。利子収入は全体で2万8088円、利率は0.02%。定期預金利率の

上昇に伴い、より有利な利率を適用させるため一部預け替えを行った。

質問 基金を余剰資金ではなく、戦略的な財源として位置付ける考えは。

町長 財産の運用は、地方自治法により、確実かつ効率的に運用し、安全性を確保する条項があり、それに従い運用して

いる。利回り向上についても安全性を確保した上で運用できるか、リスクを考えていく中で適切な運用がどのような内容なのか考えていきたいと思っている。

他 災害協力井戸制度の導入検討について
普通財産の有効活用について

町政を問う

一般質問



(イメージ画像)

プライバシー確保が難しく、着替えも出来ない避難所は、女性には過ごしづらい



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



えん どう よし のり 議員
遠藤嘉規

質問 7月の津波警報発令時の対応は

答え 今後は、浸水想定区域に避難指示を発令

質問 7月30日の津波警

報発令時の課題として、

全国では熱中症搬送、外

国対応の困難、公共交

通停止による帰宅困難が

報告された。河津町では

避難所での暑熱対策や外

国人観光客対応、帰宅困

難者への支援、避難所で

の情報提供をどのように

行ったか。今後の改善点

について伺う。

町長 今回の対応は一定

の成果を得たが課題も多

い。今回は避難指示を出

さなかったが、今後は津波

警報発令時点で浸水想定

区域に避難指示を発令す

る。観光客や交通機関運

行停止への対応では、商

工会や観光事業者、交通

事業者との協議・広域連

質問 女性目線の防災対策どう考える

答え 非常に重要、体制作りを検討する

質問 大規模災害に備

え、女性目線の対策は極

めて重要と感じる。今後

の備蓄品の見直しや避難

所運営において、女性の

意見を積極的に反映させ

る体制や考えはあるか。

ミルクなど女性視点の備

町長 女性目線の防災対

策は非常に重要と認識し

ている。防災課に女性職

員が在籍した際には、粉

ミルクなど女性視点の備

蓄品が他市町より充実し

ていたと認識している。

そのため女性職員を配置

する必要性を感じてい

る。備蓄品や避難所対応

においては、女性だから

こそ気付く視点があり、

今後はそうした意見を取

り入れながら女性目線で

質問 災害時にリーダー

シップを発揮できる女性

人材が不可欠だと考え

る。町の考えは。

町長 町本部要員である

役場女性職員によるワー

キンググループを設置

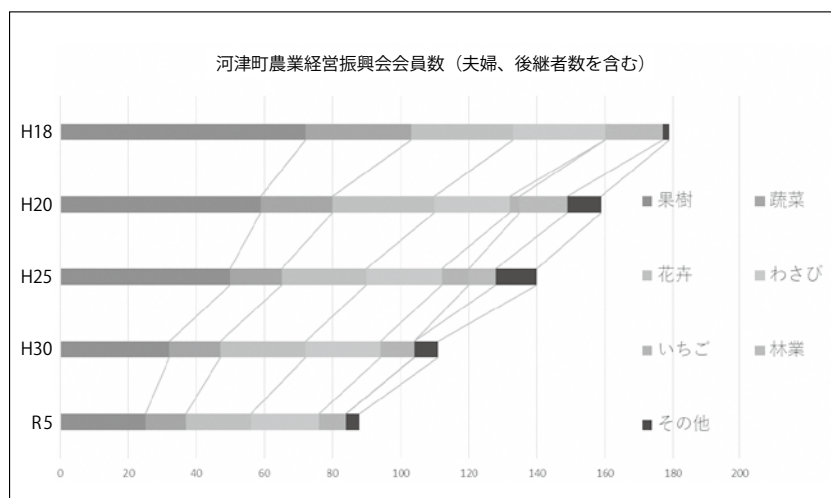
し、災害対応や防災計画

を女性目線で再検討する

ことから始めたい。

町政を問う

一般質問



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



わた なべ まさ あき
渡 邊 昌 昭 議員

質問 農業人口の減少対策は

答え 各種農業支援団体と協力し支援する

質問 農業者が減少している。町長はその原因をどのように考えるのか。施策をしているのか。

町長 高齢化や人口減少の問題がある。私は専業農家を継ぐ人がいないのが大きな要因ではないかと考える。

産業振興課長 青年就農給付金制度やJ・Aふじ伊

豆や県農林事務所、農業振興公社等の関係機関と協力して支援している。

質問 地域おこし協力隊も農業に根付かないが、各種の農業へ農繁期に派遣し、体験すれば自分に適した農業を見つけれられ、農産物のブランド化はできないか。さらに未来に向け、情報

の発信や農業の法人化の指導はないか。

町長 協力隊員や民間事業者、町民の協力を得て、アボカドやアマチャの協議会を立ち上げる予定、他の加工品も好評。

産業振興課長 東日本一のアボカド露地栽培生産地を目指す。

質問 高齢者の事故防止対策は

答え 啓発と公共交通の確保に努める

質問 高齢ドライバーによる交通事故が多発している。以前は交通安全教室等が開催されていたが、近年道路交通法も何度が改正されているものの、周知の機会が必要ではないか。どのような安全講習を実施しているのか。

防災課長 高齢者向けの交通安全教室の町単独では開催はない。交通安全協会と毎年町内の1地区を選定し、高齢者単独世帯を中心に訪問での交通安全の啓発を行っている。昨年度は見高地区を中心に60件訪問した。引き続き実施していく。

質問 高齢になり身体・視力・反射神経などの機能が衰え、若い時のよう

な運転が困難な方がいるが、買い物や、通院に不便なため免許返納に踏み切れない方がいる。免許返納をどのように推進するのか。

町長 町内では30人くらいのの方が返納されている。公共交通機関の確保に努めていく。

町政を問う

一般質問

障害のある人に対して65.1%が関心はあるが、福祉ボランティアは、したくない人の割合が高い。また、障害のある人にとって、住みやすい町づくりには、福祉教育と広報活動が重要と思っている人が多い。

Q、福祉関係のボランティアをしたいか

A、ぜひ活動したい・できれば活動したい38.4%
まったくしたくない・あまり活動したくない51.1%

Q、障害のある人にとって、住みよい町を作るためには

A、障害がある人の理解のため、福祉教育や広報活動が34.6%で、最も割合が高い。

第5次賀茂地域障害者計画の一般アンケート



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



きた じま まさ お
北島正男 議員

質問 福祉ボランティアをすすめるには

答え 助け合い精神の学びの場は多い

質問 第5次賀茂地域障害者計画のアンケート調査で「福祉ボランティアをしたいと思うか」の問いに対し、「したい」より「したくない」が大きく上回っている。賀茂地区の調査なので、河津町だけで質問したら、そうはならないと信じたい。河津町では、社会的弱者

に対する福祉的ボランティア活動が多くあり、「福祉ボランティアをしたくない」が増えれば現状活動は衰退する。教育現場での福祉関連のカリキュラムは。

教育長 助け合いの精神を重視した学びの場は多く、アイマスク体験やパラスポーツ体験などの学習の他、福祉の発見セミナーの受講や、町内福祉施設での体験学習やボランティア体験など、社会福祉協議会の協力も得ながら多くのカリキュラムがある。

町長 他人事ではなく自分事ととらえ多くの人がボランティア参加してくれるとよい。

質問 親亡き後の障害者の生活への公助は

答え 横断的サービスの展開が可能

質問 民生委員児童委員の活動が全国表彰を受けた。社会福祉協議会やボランティアと一緒に様々な活動や支援に参加し「障害者社会学級」の活動を通じ「親亡き後に安心して暮らせる環境づくり」に努めた。どの活動も自助促進や共助の支援活動であるが、河津町の

公助の取り組みや施策の今後計画などの考えは。

福祉介護課長 公助として、今後も社会福祉協議会と共に包括的に活動と連動していきたい。

親亡き後の障害者の生活については、施設・通所・相談・支援と様々な制度があり、サポートは充実している。役場や教

育委員会など一体的で横断的なサービスが可能と考え、その下支えとして民生児童委員の活動により成り立つと考える。

他
・賀茂地区障害者計画に
関して

・町の課題解決のため職員横断型プロジェクトを
組む必要性は 2件

第1常任委員会

誰もが利用できる

第2弾「共助版ライドシェア」実証実験

●運行日程

令和7年9月27日～

10月10日

※9月27日～10月5日は
がんバル開催期間

●予約時間

16時30分～21時45分

●運行時間

17時30分～22時30分

●運行体制

乗務員2名（ドライバー
＋補助員）

※乗務員は

商工会観光サービス業部
会・商工会理事・観光協
会理事・議員有志

●利用用途

通学・買い物・飲食等制
限なし

●料金

5キロ未満

500円

5キロ以上

1000円

町内（1グループ1行程）

●アンケート実施

夜間交通に対するニーズ
調査

●広報周知

回覧板・町公式「こころ」・
河津有線テレビ・新聞折
り込み



7月29日・8月4日

全自連（全国自治体ライ
ドシェア連絡協議会）、県
地域交通課、商工会事務
局、第1常任委員長がオ
ンライン会議を行った。

7月7日・8月25日開催

第1常任委員会と河津
町商工会観光サービス業
部会、河津町観光協会で
進めている、第2弾「河
津ザクライド」の実証実
験を、9月27日から10月
10日まで運行をするた
め、全自連、県地域交通
課に協力をいただき、運
行料金の考え方や、安全
運転講習等、運行につい
ての勉強会を開催した。

「河津ザクライド」は、

17時以降タクシー運行が
なくなることから、その
改善と夜の地域産業活性
化、夜間移動を補完する
べく、夜間交通の必要性
をこの実証実験を通じ
データ集積とアンケート
調査を実施し、夜間交通
の検証をしていく。

第2常任委員会

主な活動内容

7月8日

活動テーマについて

7月16日

第1回河津町青少年問
題協議会 委員長出席

7月22日

8月26日

視察研修報告会につい
て協議

9月12日

町内各種団体への視察
研修報告会開催につい
て議会へ周知

*視察研修については次
ページに掲載

広報常任委員会

6月20日

7月1日

7月8日

委員会を開催し、議会
だより106号の作成・
発行を行った。

3月に開催された「河
津寄つて軽トラ市」でのア
ンケートの集計を実施。

6月には昨年に引き続
き3年後に選挙権を持つ
中学3年生に議会だより
を読んでいただきアン
ケートを実施。

アンケート結果を参考
にし、活動に活かしてい
きたい。今後も各種のイ
ベントに参加し、皆様の
ご意見を伺います。

8月28日

委員会を開催し、議会
だより107号の編集会
議を行った。

能登半島被災地視察

河津町の防災・復興対策に活かすため、令和7年6月9日～11日に石川県七尾市・輪島市・珠洲市を視察した。

河津町の防災・復興対策に活かすため、令和7年6月9日～11日に石川県七尾市・輪島市・珠洲市を視察した。

○七尾市（和倉温泉）

- ・和倉温泉旅館組合事務局長から震災当日の宿泊客・地元民の避難誘導を実施し、翌日には宿泊客を旅館送迎車で金沢駅まで搬送した等の当時の対応を聴取した

- ・旅館被害20軒中、復旧は5軒。ボランティアや工事関係者に素泊まりを提供



解体中のホテル

○輪島市

- ・火災のあった輪島朝市会場は撤去されているものの周辺ではいまだ倒壊した建物がそのままになっていた



- ・国道249号や海岸部道路が通行不能となり、海岸隆起部に新設された仮設の道路を視察



○珠洲市

復興支援ツアーにより被災地の状況を視察した。

- ・観光地である見附島で津波被害を視察



- ・石川モデルの仮設住宅を見学。仮設住宅のあとは市営住宅として活用予定



仮設エリアの集会施設

- ・プレハブ型153戸の仮設住宅を視察。コミュニティを重視しているとの説明を受けた



- ・避難所となった学校視察。移動型仮設トイレ、炊き出し運営、SNSの活用について聴取
- ・能登瓦の回収と再利用
- ・災害廃棄物の処分場の視察。東京ドーム2個分の敷地に国、県の連携で素材別に搬入

●各方面での課題が残ることが判明するとともに迅速な国・県の支援、地元住民主体の活動や平時からの訓練、SNSの活用、議員、行政の行動指針策定が求められる。

今後、この貴重な視察を町内に広報し、防災対策に応用していくとともに、防災士会・災害ボランティア会、消防団等に発信していく。



災害廃棄物処分場

あなたの意見を町政に！

町議会議員選挙に立候補するには

議 会
改 革

子どもたちの
未来のために、
今できることは
何だろう？

この町が、
もっとこうなったら
いいのに…

あなたのその思い、胸の中にしまっておくだけではもったいない。
あなたが**議員**になって、まちの未来を直接つくっていく。
そんな選択肢、考えてみませんか？

自分なんて、特別な
経歴もないし…

政治の世界は
難しそう…

そんなことはありません。議会には、会社員、自営業、主婦、若者、
子育て世代、シニア世代…多様な視点が必要です。
あなたの当たり前の毎日の中にこそ、まちを動かすヒントが隠されています。
議員になって、まちの未来を直接つくっていく。そんな選択肢、
考えてみませんか？

未来への扉を開く準備を始めましょう！

お金がかかるんじゃない？

選挙運動には一定の費用がかかります。供託金、ポスター・ビラの印刷代、人件費、選挙事務所の賃料など、必要な資金を計画的に準備する必要があります。

必須 供託金 15万円

個人判断で発生する費用（公費負担有）

選挙運動用ポスター作製費・ビラ印刷費、選挙運動用車両

個人判断で発生する費用

選挙事務所の賃料、車上運動員（ウグイス）費等

どんな準備が必要なんだろう？

立候補するために必要な資格（被選挙権）があるかを確認しましょう。町議会議員選挙の被選挙権は、次の2つの要件を満たす必要があります。

年齢要件

日本国民であり、選挙の投票日時点で**満25歳以上**であること。

住所要件

河津町内に、引き続き**3ヶ月以上**住所を有していること。

これらの要件を満たしていれば、法的には誰でも立候補することが可能です。

※法的以外で一番重要なこととして

選挙活動は時間的にも精神的にも大きな負担を伴います。家族や職場の理解と協力は不可欠です。

次号議会だよりでは議員の年間活動内容などを掲載しますので参考にしてください。



Facebook
QRコード



Instagram
QRコード

7月11日
グランシップ静岡
「AI、自動運転、医療DXー
現代の先端テクノロジーは、
産業や社会をどう変えていく
か」

静岡県市町議会議員研修会

6月9日～11日
石川県七尾市・輪島市・珠洲市
視察（詳細は11ページに掲載）

議員視察研修



渡 邊 弘 議長

議会のひろば

一部事務組合

東河環境センター

令和7年6月18日

●臨時会

東河環境センターでは、2年ごとに管理者の交代が行われ、令和7年度から管理者が東伊豆町長から河津町長へ交代したことに伴い、正副議長選挙が行われ、それぞれ選任された。

・議長 西塚 孝男
(東伊豆町)

・副議長 稲葉 静
(河津町)

伊豆斎場組合

令和7年8月27日

●定例会

令和6年度決算

5136万9千円

加入団体負担金

3538万1千円

下田市1402万1千円

東伊豆町876万1千円

河津町 599万1千円

南伊豆町660万8千円

令和6年度火葬件数

1099件

下田市

466件

東伊豆町

290件

河津町

153件

南伊豆町

190件

※参考

令和5年度火葬件数

1002件

令和6年度は前年度比較で97件(9.6%)増となった。

下田メディカルセンター

令和7年8月20日

●定例会

病院事業会計と介護老人保健施設事業特別会計の各令和6年度の決算、令和7年度病院事業会計補正予算など6議案と、議員発議の同センター将来構想調査特別委員会設置を可決した。

会議冒頭、慣例で2年交代となっている正副議長の改選があった。

今決算の主なものとして、旧共立湊病院解体工事で損失が膨らんでいる。

河津町負担分は解体工事分を含み1238万9267円であった。

下田地区消防組合

令和7年8月20日

●定例会

令和6年度会計決算認定

・監査委員の選任

渡邊 昌昭(河津町)

・高規格救急自動車購入契約締結(電動ストレッチャー架装)

・令和7年度会計補正予算他が審議可決された。

・事業報告

令和7年2月1日～

同年7月31日

火災 建物 8件

(河津町1件)

車両火災 1件

船舶火災 2件

その他 5件

救助 29件19人

救急 2025件

1768人

(河津町 232人)

通信指令

119番受信

2585件

(誤報等 842件)

議員研修会

定例会終了後議員研修会が開催された。



契約した救急車と電動ストレッチャー

議会だより第107号

締め切り
11月末日必着

読者アンケート

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。

各質問の回答をご記入の上、FAX又はメール、郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。または、下記QRコードから、WEB回答できます。



スマホで簡単に
アンケート回答
ができます

- 送付先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2
河津町役場 議会事務局
※切手代などは各自ご負担願います。

Q1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。

複数回答可）

- | | |
|--|--|
| ☐ P. 2 ~ P. 4 決算審査特別委員会 | ☐ P. 11 議員視察 |
| ☐ P. 5 定例会 | ☐ P. 12 ~ P. 13 議会改革特別委員会 |
| ☐ P. 6 ~ P. 9 町政を問う（一般質問） | 議会のうごき |
| ☐ P. 10 常任委員会 | ☐ P. 14 一部事務組合 |
| | ☐ P. 16 私の一言・編集後記 |

Q3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

- ☐ 1. 大変満足 ☐ 2. まあまあ満足 ☐ 3. もう少し ☐ 4. 不満

Q4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。



抽選で5名様に
「踊り子温泉会館入浴券」
プレゼント!!

アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。

なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

お名前（任意）	
ご住所（任意）	
連絡先（任意）	

無記名でも回答いただけます。ただし、プレゼントの対象にはなりません。

お寄せいただきましたご意見・ご感想は、議会だよりで紹介及び議員内で共有させていただく場合があります。また取材や原稿依頼等をさせていただく場合は、広報常任委員会から改めて連絡いたします。回答いただいた個人情報は、ご本人の許可なく外部に提供することはありません。

議会事務局 TEL0558-34-1957

FAX 番号 0558-34-1405

E-mail: gikai@town.kawazu.lg.jp

～私の一言～



「町を盛り上げる
チアダンス」

GO KAWAZU メンバー
松本 葉那

河津桜のピンクをイメージしたTシャツがユニフォームのチアダンスチーム GO KAWAZU をご覧になったことはありますか？

私は、チームの最年長メンバーとして活動2年目を迎えました。地元のお祭りやイベントに出演し、子どもから大人まで幅広い世代の方々に笑顔とパワーを届けています。元気いっぱいの小中高生による華やかなパフォーマンスは、集まってくださった方々に喜んでもらい、町全体の活性化にも繋がっていると思います。私もチアダンスを通じて大好きな河津町を盛り上げることができてとても嬉しいです。これからも感謝の気持ちを込めて、河津町を全力で応援していきます。



「Let's cheer up!」

GO KAWAZU の会代表
山田 萌絵

GO KAWAZU は「河津町を盛り上げる！」を合言葉に2024年に発足した地域応援プロジェクトです。BDA の鈴木幸絵氏を講師に、町内の小学4年生から高校生の約20名がチアダンスで河津町を元気にチアアップしています。今年度は天城アタックや河津万博、河津総踊り等に出演しました。元気に笑顔で踊ると見ている人も思わず笑顔になりますね！

メンバーにはチアダンスを通してチアスピリット（人々を応援し元気づける／何事にも前向きに取り組む／思いやりの心を持ち社会に貢献する）を学び、素敵な河津人になってほしいと思っています。町民の皆様にチアスピリットを届け、魅力あふれる河津町の一助になれるようチーム一同頑張ります！



編集後記

今回の編集では、表紙の写真、私の一言の担当をした。そのなかで、GO KAWAZU のお二人から「私の一言」をいただいた。お二人ともチアダンスで、地域貢献、地域への感謝、河津愛がものすごく伝わる。チアを通じて指導者、メンバーが同じ目標「河津を盛り上げる」に、チーム一丸となり同じ方向に向かっていく姿が素晴らしい。これからのGO KAWAZU のチーム力と活躍に期待と楽しみしかない。

(大川)

広報常任委員会

委員長 渡邊昌昭

副委員長 正木誠司

委員 北島正男

〃 大川良樹

〃 桑原 猛

次回定例会は12月開催予定です。